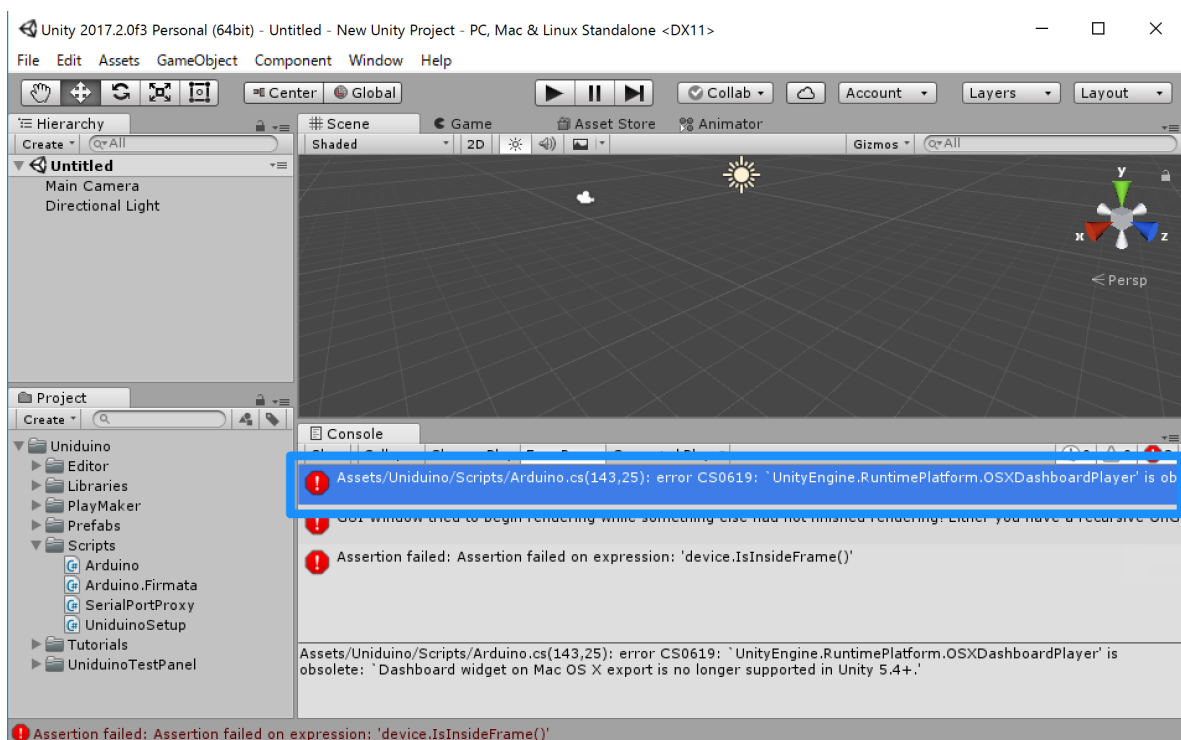


---

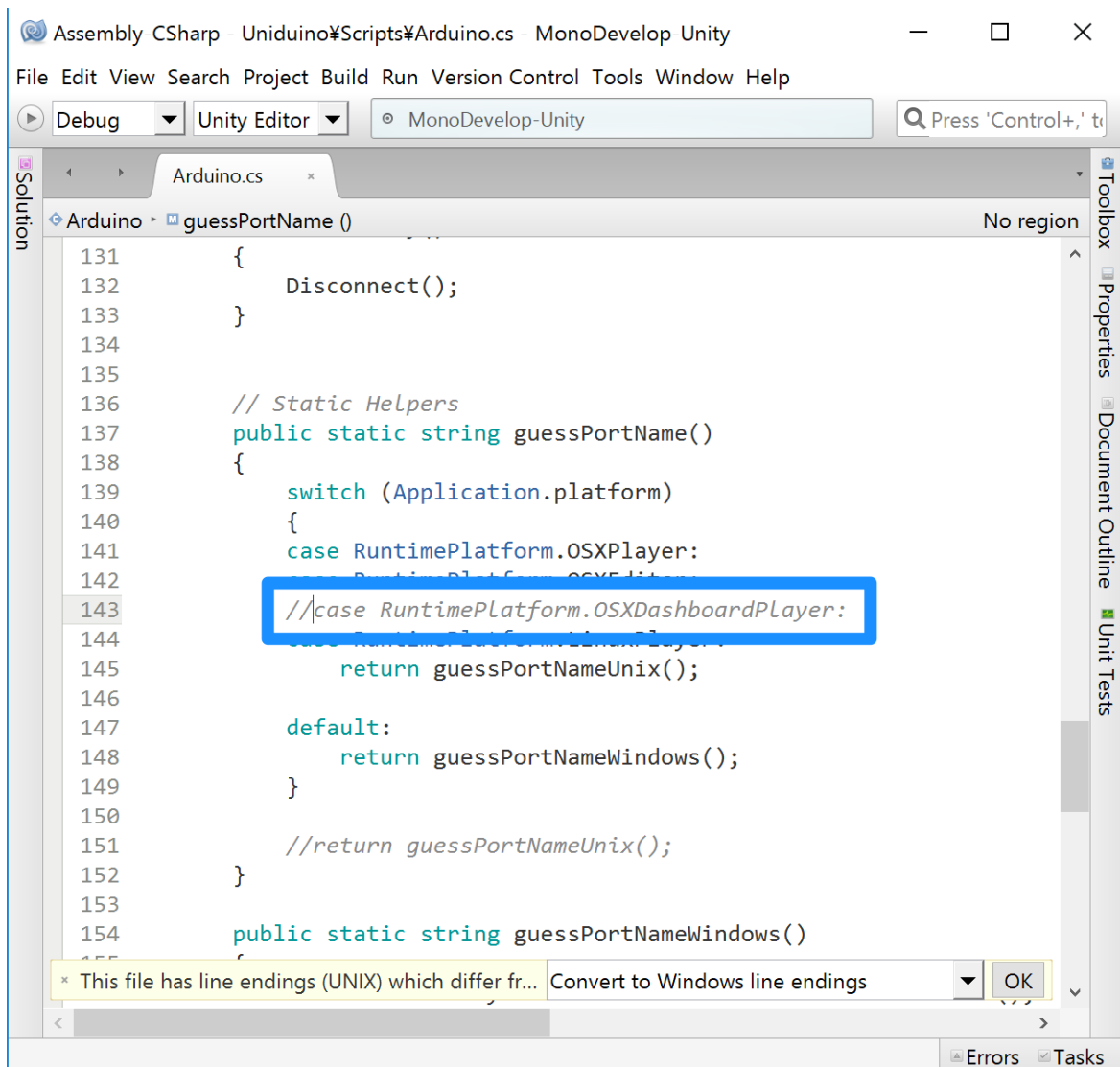
2017年7月にUnityの大幅なアップデートが行われ、幾つかの命令が廃止となりました。2013年に開発されたUNIDUINOには、廃止された機能が含まれていたためエラーが発生しました。UNIDUINOの開発者によるアップデートが望ましいのですが、現時点では対応されていません。以下にUNIDUINOのプログラムを一部修正し、新しいUnityに対応する方法を説明します。

---

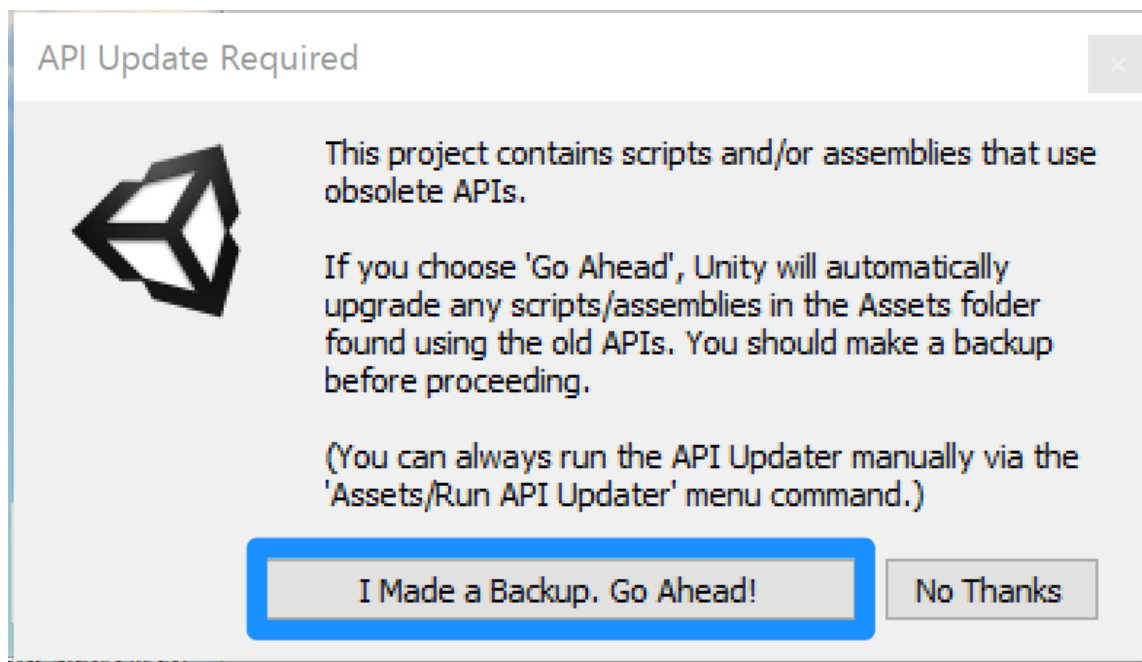
1. Uniduinoをインポートしてください。
2. エラー表示の部分をダブルクリックしてください。



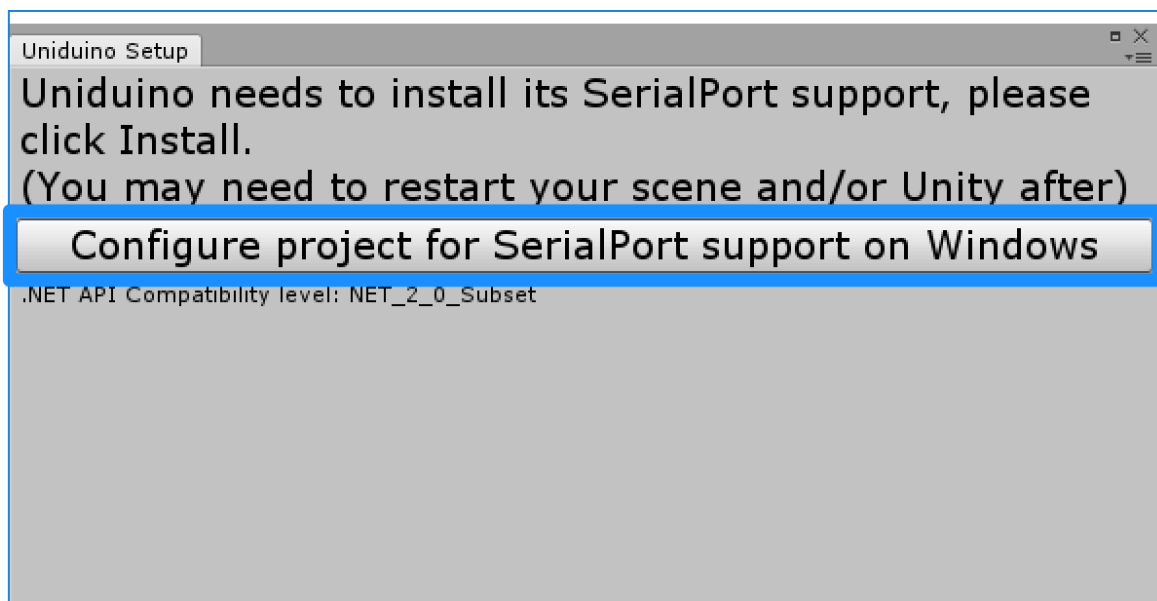
3. MonoDevelopというエディタでArduino.csが開きます。143行目をコメントアウト（行の先頭にスラッシュを2つ //



4. Arduino.csを 保存して、Unityに戻ると、「API Update Required」というダイアログが表示されるので「I Made a Backup, Go Ahead!」を選択してください。使用できなくなった命令を、新しいバージョンで使える形に自動的に変換します。



5. UniduinoTestPanelのシーンをダブルクリックで開き、プレイボタンを押してください。シリアルポートのプラグインをインストールするダイアログが開いたら「Configure Project for SerialPort support on Windows」をクリックしてください。インストールができればUnityを再起動してください。



6. UniduinoTestPanelのシーンを開き、プレイボタンを押すと、接続先のポートを指定する画面が表示されます。右上のSerial PortにArduino Unoを接続したポート番号を入力してください。ポートの確認の方法は、chapter2 p31を参照してください。左上の「Connect」ボタンを押すと、Arduinoのピンのテスト画面が表示されます。

